

第2部 自然環境の現状と対策

第1章 自然環境の現状

第1節 地形、地質

本県の地形、地質は、構成する地質や火山活動などにより 県南域と県北域では著しく相違している。

県南域は、三郡変成岩類や花崗岩類などの古い地層からなるため地形は急峻で、そこには侵蝕により生じた遷急点が随所にみられ、滝や瀨などの自然美豊かな景勝地が形成されている。反面、北域は、比較的新しい地質に属する新第三系やこれを覆う鮮新世火山岩類が広く分布し、地形は一般になだらかである。さらに、本県には大山をはじめとする新しい火山活動の所産である火山地形が各地域に分布している。なかでも、県東部の扇ノ山、氷ノ山及び県西部の大山火山群などは、秀麗な山容と雄大なスロープとが相まって、優れた火山地形を形成している。

一方、日本海に面する145 Kmに及ぶ海岸域には、日本海の荒波と河川の流砂により形成された鳥取砂丘や弓浜半島のごとき日本最大の砂丘、砂州が発達し、後背地の松林と相まって、白砂、青松の美しい砂浜海岸が各所に見受けられる。

また、県東部の岩石海岸には、洞門、洞窟、波食棚等のめずらしい海岸地形が分布し、これらは透明な海と緑の山とよく調和し、山陰の松島といわれる良好な自然景観が形成されている。

優れたものは表1 2のとおりである。

表1 優れた地形
(山 岳)

地 名	地 形 的 特 性	特 記
馳 山	ビュート型 ～ ト イヅ型	均整のとれた山形展望良
立 岩 山	ビュート型 ～ ト イヅ型	急傾斜孤峰
久 松 山	孤 立 丘	ドーム状、展望良
扇 ノ 山	楕 状 火 山	スケール大
霊 石 山	メ ー サ	山頂に平坦地
氷 ノ 山	楕 状 火 山	山頂に平坦地
頭 巾 山	壮 年 山 地	急峻な鋭峰
洗 足 山	壮 年 山 地	急峻な鋭峰
穂 見 山	壮 年 山 地	
籠 山	壮 年 山 地	

地名	地形的特性	特記
高鉢山	壮年山地	
高山	壮年山地	
鷲峰山	古期火山	日本海側の展望良
毛無山	古期火山	日本海側の展望良
矢山	孤立山地	湖山池の展望点
スクモ山	孤立山地	
金峰山	花崗岩 禿山	展望良、道路
桐山城および桐山	花崗岩 禿山	城跡
摩尼山	孤立山地	
覚寺峠	第三紀丘陵	
丸山	孤立丘陵	
雁金山	孤立丘陵	
本陣山	平頂山地	城跡
今木山	孤立丘陵	
猫山	壮年山地	
円通寺山	ビュート	
遠見山	壮年山地	
若桜城山	孤立丘陵	
鉢伏山	平頂山地	
三徳山	溶岩山地	
花倉山	花崗岩山地	
羽衣石山	花崗岩山地	城跡
栗尾山	花崗岩山地	
御冠山	溶岩山地	
大平山	第三紀丘陵	
馬ノ山	溶岩台地	古墳、古戦場
倉吉市街の北方山地	安山岩丘陵	
打吹山	壮年的孤立山地	
高城山	花崗岩孤立丘陵	
若杉山	モナドノク	
大山	トイブ	

地名	地形的特性	特記
烏ヶ山	溶岩塔	一サ型 草原 展望良好 草原、たたら跡 流紋岩、花崗岩の岩質差を反映そこに鳥上滝
孝霊山	寄生火山	
鐔抜山	寄生火山	
壺瓶山	寄生火山	
城山	ペディオーーア	
鬼住山	花崗岩壯年山地	
粟島	玄武岩孤立丘	
城山(米子)	流紋岩孤立丘	
要害山	壯年山地	
金華山	凝灰角礫岩山地	
宝仏山	壯年山地	
大倉山	孤立山地	
花見山	孤立山地	
鬼林山	孤立山地	
稲積山	孤立山地	
道後山	準平原遺物とモナドノック	
窓山	壯年山地	
船通山	壯年山地	

〔高原〕

地名	地形的特性	特記
河合谷高原	ペディオーーア	小湖ありスケール大
菅野高原	ペディオーーア	湿原あり
広留野	新时期ピリ台地	
稲葉山高原	安山岩台地	
東山・沖ノ山高原	準平原遺物	
津無高原	山麓階	
波多の台	準平原遺物	
陰所峠面	準平原遺物	
三原高原	山麓階	
落折高原	ペディオーーア	

地名	地形的特性	特記
弓河内高原	山麓階	
鷲峰緩斜面	古崖錐	
長尾鼻高原	ベグイオーア	
亀尻高原	ベグイオーア	
八葉寺高原	ベグイオーア	
俵原高原	ベグオニア	
高清水高原	ベグイオーア	
三朝高原	ベグイオーア	
若杉山高原	準平原	
鏡ヶ成	火砕流面	
大河原	火砕流面	
榊水原	火砕流面	
赤松原	火砕流面	
草谷原	火砕流面	
一息坂高原	火砕流面	
中山原	火砕流面	
船上山	ベグオーア	
越敷野	ベグイオーア	
鶯ノ池高原	山麓階	
根雨原	山麓階	
岩坪湿原	旧河床が山くずれで湿原化	埋れ木 樹根あり

〔湖沼〕

地名	地形的特性	特記
多鯰ヶ池	古砂川による古いフグーン	中国地方最深
湖山池	フグーシ	
東郷池	フグーシ	水質・底質の保全
大山池	人工湖	灌漑用人工湖として中国地方最大
大野ヶ池	原因不明一火砕流せきとめ湖	人工湖としてよりもカルデラ湖の性質
赤松池	人工湖	
鶯ノ池		
中海	フグーシ	スケール大、水質汚れ

〔峡谷〕

地名	地形的特性	特記
雨滝峡谷	峡谷壁と懸谷の滝	滝多数をともなう
大石峡谷		
上地峡谷	若返りの谷と段丘	両側に小段丘
姫路峡谷		
諸鹿峡谷	安山岩谷壁	
春米峡谷		
吉川峡谷		
落折峡谷		
芦津溪谷	穿入V字谷	
新見川		
屋住(安蔵)峡谷		
佐治谷	谷壁が急崖	佐治石あり
三滝溪谷	滝瀬多し	
赤波川		
岩坪峡谷	ポトホールあり	
松上峡谷		
長柄峡谷	河川争奪 深い侵蝕谷	
小鹿溪		
三徳溪谷		
川上溪谷	花崗岩の溪谷	花崗岩奇岩あり
太郎田溪谷		急崖、奇岩あり
笏賀溪谷		
鉛山溪谷	上流型V字谷	V字谷、岩盤露出
曹源寺溪谷	上流型V字谷	
木地山溪谷	上流型V字谷	
田代溪谷		
下畑溪谷		
福本溪谷		
岩倉溪谷		
山川木地溪谷		
甲川峡谷	火砕流と溶岩を刻む	
川床峡谷	安山岩を刻む峡谷	

地名	地形的特性	特記
地獄谷	火砕流中の峡谷	大山滝など滝多し
小鴨川上流	火砕流中の峡谷	
猿飛溪谷		
法勝寺川		
石霞溪	花崗岩の谷床 谷壁	

〔 滝 〕

地名	地形的特性	特記
雨滝	相対的に堅硬な安山岩によって形成	落差40m 他に布滝、宮滝あり
三滝（三滝溪）	2段の滝	他に夫婦滝、虹が滝など多数
山王の滝（佐治谷）		
芦津溪三滝		
田原谷不動滝	本支流の侵食差と安山岩の節理に起因、他に湯原 妙円滝あり	落差20m 不動尊こもり堂あり
今滝	安山岩の急崖を落下	落差30m
大山滝	火砕流堆積物に貫入した安山岩岩脈によって形成、2段の滝を作る	下位の滝は崩壊速度大
尼落しの滝	若返りの谷の谷頭	落差3.4m、学術参考地
宮滝（雨滝溪谷）	安山岩の節理支配	3段の滝からなる
千丈滝（船上山）	雄滝は細長く、雌滝は巾大で落差大	水量が少ないことが欠点
岩倉滝（倉吉市岩倉）	柱状節理にそう滝	巾8m、落差11m、水深2m
竜王滝（日野町、滝山）	落差大	
亀滝		
大鹿滝		
あみだ滝		

〔 河 川 〕

地名	地形的特性	特記
千代川中流	穿入蛇行	智頭トンネル付近がもっともすぐれる
日野川中流	穿入蛇行	江尾～黒坂

〔海岸〕

地名	地形的特性	特記
東浜～居組	花崗岩海食崖	
羽尾海岸	安山岩海食崖	
浦富海岸	花崗岩海食崖	
駟馳山海岸	凝灰岩海食崖	
鳥取砂丘	砂丘	
賀露海岸	砂浜・新期砂丘	
白兔～酒ノ津	岩石海岸(第三紀)とポケト浜	
長尾鼻	安山岩断崖	
小浜	懸谷と海岸段丘	
泊	離水洞・ベンチ	
橋津	離水洞・旧海崖	
由良崎	浜堤列	
御崎	火山海岸の波食	
甲川河口	漂礫浜	
大雀	漂礫浜	
弓ヶ浜	長大な砂州	
海食洞		
竜神洞	離水海食洞と現海食洞あり	スケール大
一ノ山洞くつ	離水海食洞	学術参考地
丸山洞くつ	離水海食洞	学術参考地
橋津洞くつ	離水海食洞	学術参考地

表2 優れた地質

〔岩石鉱物産地〕

名称	種類	位置	特記
あられ石	二次生成物	竜神洞(岩美町)	二次生成物 Fros Ferr ₁
菱沸石	斜方沸石	大羽尾(岩美町)	
束沸石	採石場跡に産出	駟馳山(岩美町)	
岩美銅山跡	古くより知られる沈澱銅を産した。	岩美町荒金	Ag. Cu. Pb. Zn. etc. 共存
泥炭	湿原地に形成	国府町菅野	

名 称	種 類	位 置	特 記
濁 沸 石	菊花状に集合	八東町広留野	
碧 玉	赤玉状の珪酸鋇物	八東町広留野	
蛇 紋 岩	採石されたことあり	若 桜 町 角 谷	
ひ す い 輝 石	曹長石と共生	若 桜 町 角 谷	
ア ン プ シ ン	カンフン石とともに巨晶をなす	国 府 町 拾 石	
方 解 石	幕末まで石炭がまあり	八東町新興寺	
百 谷 鉱 山 跡	裂か充填銅鉱山	鳥 取 市 百 谷	
碧 玉	流紋岩に波状に生成	鳥 取 市 覚 寺	
褐 鉄 鉱	高師小僧	鳥 取 市 浜 坂	
褐 鉄 鉱	あん石	国 府 町 笑 道	
濁 沸 石	方解石と共生	河 原 町 稲 常	
ベントナイト	流紋岩脈の風化生成物	鳥 取 市 中 砂 見	
沸 石	河原火山岩中に生成	河 原 町 神 馬	
佐 治 石	三郡変成岩中の火山岩源の片岩鑑賞石	佐 治 村 加 瀬 木	
白雲母花崗岩	白雲母を含む花崗岩は本県では珍しい	佐 治 村 栃 原	
木 化 蛋 白 石	白兔礫層中に産出する	鳥 取 市 白 兔	
石英（水晶）	モノブアの鉱床域の晶洞（ガマ）に集合	東 郷 町 別 所	
ウ ン 鉱 物	わが国の代表的な堆積型ウン鉱床	三 朝 町 神 倉	
ウ ン 鉱 物	人形石(Ningyoite)等を伴うウン鉱床	三 朝 町 人 形 峠	
金 雲 母	玄武岩の晶洞中に結晶	倉 吉 市 田 内	
ア ミ ナ 球 黽	軽石層中に梅干し状に産する。ギブサイト が主成分	倉 吉 市 駄 経 寺	
イモゴライト	軽石層中の皮膜状鉱物	倉 吉 市 秋 喜	
輝 水 鉛 鉱	黄鉄鉱と共存、脈状	倉 吉 市 高 城	
碧 玉	脈状に産する鉄を含む珪酸鋇物	溝 口 町 栃 原	
ひ る 石	黒雲母の仮晶で分解してギブサイト等になる	淀 江 町 岡 成	
高 温 石 英	β 石英の単結晶	米 子 市 陰 田	
後 谷 鉱 山 跡	銅、亜鉛鉱山	日 野 町 後 谷	
松 皮 石	中生代火山岩中の泥岩層	日 南 町 多 里	
大 村 鉱 山 跡	マンガン鉱山、バフ輝石を産す	用 瀬 町 赤 波	
まんじゅう石	雲根志に所載の「団子石」	倉 吉 市 汗 干	

〔化石産地〕

名 称	種 類	位 置	特 記
中新世の動物化石群	新第三紀の海棲化石ウーを多産	国 府 町 上 地	
ピカノヤ他	腹足類、中新世標準化石	若 桜 町 春 米	
岡益植物化石群	台島型の温暖性植物化石	国 府 町 岡 益	
中新世化石群	新第三紀の海棲動物化石群	国 府 町 美 歎	
中新世魚類化石	海産魚類化石を多産	国 府 町 宮 ノ 下	
古人形谷化石群	昆虫、淡水魚化石を共産	佐 治 村 辰 己 峠	
三徳型植物化石	ブナ、カエデを多産する中新世植物	三 朝 町 吉 原	
備北層群化石群	中新世の内湾性化石	日 南 町 多 里	
コンプターフィルム他	ヤマモモ科植物 中新世標準化石	国 府 町 普 含 寺	

〔温泉地、湧水地〕

名 称	種 類	位 置	特 記
岩井温泉	含 芒 硝 石 膏 泉	岩 美 町 岩 井	高温泉
鳥取温泉	含 芒 硝 食 塩 泉	鳥 取 市 鳥 取 駅 東 南	高温泉
台岡温泉	单 純 泉	鳥 取 市 吉 岡 温 泉 町	高温泉
湯谷温泉	含 重 曹 食 塩 泉	河 原 町 湯 谷	温 泉
福部温泉	含 芒 硝 石 膏 泉	福 部 村 久 志 羅	冷鉱泉
湯原温泉		若 桜 町 湯 原	湯徴地
浜村温泉	含 石 膏 食 塩 泉	気 高 町 浜 村、勝 見	高温泉
鹿野温泉	单 純 泉	鹿 野 町 鹿 野	高温泉
浅津温泉	含 石 膏 食 塩 泉	羽 合 町 浅 津	高温泉
東郷温泉	含 石 膏 食 塩 泉	東 郷 町 松 崎	高温泉
三朝温泉	放 射 能 泉	三 朝 町 二 朝、山 田	高温泉
関金温泉	单 純 泉	関 金 町 関 金 宿	高温泉
福富温泉	硫 酸 塩 系	倉 吉 市 福 富	湯徴地
皆生温泉	含 塩 化 土 類 食 塩 泉	米 子 市 皆 生	高温泉 注)日本鉱泉分析法 による。
湧 水 地	地 下 水	鹿 野 町 小 別 所	
湧 水 地	地 下 水	青 谷 町 八 葉 寺	
湧 水 地	地 下 水	赤 碓 町 黒 川	

名 称	種 類	位 置	特 記
湧 水 地	地 下 水	淀江町高井谷	
湧 水 地	地 下 水	溝口町榊水原	
湧 水 地	地 下 水	溝口町末鎌	

〔地質産状好露出〕

名 称	種 類	位 置	特 記
柱 状 節 理	日本海に面した大露頭	福部村岩戸	
柱 状 節 理	新第三紀安山岩	国府町捨石	
柱 状 節 理	扇ノ山溶岩流の末端	八東町富枝	
泥岩の斜層理	凝灰岩とシルトの互層	鳥取市里仁	
円通寺礫層	鳥取層群中の礫岩	河原町稲常	
花崗岩と岩脈	花崗岩に貫入した玢岩脈	用瀬町用瀬	
郡家礫岩層	鳥取層群の基底礫岩	河原町神馬	
チャートの褶曲	古生層中の異状褶曲	佐治村余戸	
辰己峠層と基盤	古人形谷の不整合	佐治村栃原	
辰己峠層と断層	県境付近の小断層	佐治村辰己峠	
青谷安山岩産状	海岸に面した露頭	青谷町長尾岬	
クロスナ層	新砂丘中の腐植層	泊村石脇	
古砂丘と基盤	下部ローム層を覆う砂丘	羽合町南谷	
三朝高原露頭	高原道路沿いの露頭	三朝町三朝	
人形峠層	チャノネル状の砂礫層	三朝町人形峠	
船上山溶岩	古期大山の溶岩流	赤碕町茶園原	
火山灰乱堆積	上部火山灰層の褶曲	江府町御机	
クロズナ層	弓浜部の砂丘中に発達	米子市彦名	
鶴田玄武岩	玄武岩台地	溝口町鶴田	
金持礫岩	火道性の礫岩	日野町金持	
荷 重 痕	上盤地層の荷重で形成	日南町多里	
玄武岩の節理	広留野の溶岩流	若桜町諸鹿	
柱 状 節 理	摩尼山道沿いの景勝地	鳥取市円護寺	
花崗岩と円護寺石	断層で接する	鳥取市覚寺	
火山岩と基盤	花崗岩地の孤立火山岩丘	西伯町金華山	
砂丘と火山灰	砂丘中にはさまる火山灰	北条町弓原	

〔地質模式地〕

名 称	種 類	位 置	特 記
鳥越火砕岩	新第三紀末火山砕屑岩	岩美町鳥越	
淵見閃緑岩	新第三紀の貫入岩体	若桜町淵見	
普含寺泥岩	新第三紀の海成層	国府町普含寺	
鳥取砂丘	第四紀の海岸砂丘	鳥取市浜坂	
人形峠層	新第三紀の陸水成層	三朝町人形峠	
円通寺礫岩	新第三紀の層間礫岩	鳥取市円通寺	
白兎礫岩	新第三紀人形峠相当層	鳥取市白兎	
亀尻玄武岩	鮮新世火山岩類	青谷町亀尻	
三徳山安山岩	鮮新世火山岩類	三朝町三徳	
高清水安山岩	県境部の鮮新世火山岩類	三朝町高清水	
坂本安山岩	三徳溪谷下の火山岩	三朝町坂本	
法万浮石層	大山上部火山灰層の軽石	東伯町法万	
大山火山砕屑岩層	新期火山砕屑岩層	大山町本宮	
御来屋礫層	火山扇状地堆積層	名和町御来屋	
名和泥流	弥山噴出源の火砕岩	名和町名和	
金持礫岩	中生代火山岩の火成礫岩	日野町金持	
尚徳火砕流	下部火山灰層の火砕岩	米子市青木	
高姫層	洪積世の段丘層	会見町高姫	
米子流紋岩	上部新第三系の火山岩	米子市陰田	
多里層	備北層群相当層	日南町多里	
倉吉浮石層	大山中部火山灰層の軽石	倉吉市秋喜	
溝口凝灰岩	古期大山の砕屑岩層	大山町一ノ谷	

第2節 植 物

植物は、自然環境に最も支配され易い生物であり 気候や地形、地質の制約を受けることが多い。本県の気候は、寒冷 多雨 豪雪を伴う北陸型とは異り、むしろ年平均気温14℃内外の温暖な地といえるが、地勢から気候区を分ければ、平地部の山陰型気候区と山間高冷地の中国山地型気候区に区分される。従って、生物も寒暖両系の生物が混交して生息している。

植物の分布を自然植生からみれば、低地には温帯性植物であるソバキ、シイ、カシ、タブノキなどの常緑広葉樹が広がるが、標高が高くなるにつれ、コナラ アベマキ帯、ブナ帯、低木草本帯

へと移行する。なかでも、大山の中腹に西日本最大の規模を有するブナの原生林や山頂部のキャラボク純林は、本県における代表的な植物の分布域を形成している。また、中山町の海岸には、自生の南限といわれる北方系のハマナスが生育する反面、大山北麓の海岸部には、南方系のハマヒサカキが生育するなど、寒暖両系の植物が分布している。その他鳥取砂丘の砂丘植生や、浦富海岸のクロ松林は非常に美しい景観を呈している。

一方、平野部の神社の境内や城跡には自然性豊かな森林が残存し、県民に親しまれている。優れたものは表3のとおりである。

表3 優れた植物とその分布域

保 全 地 区	植 生 型	注 目 す べ き 種
岩美町甘露神社の社叢	シイ林	
浦富海岸	クロマツ林	
岩美町太田神社の社叢	シイ林	
鳥取砂丘	砂丘植生	
岩美町院内部落周辺	シイ、カシ林	
国府町菅野湿原及び神社の社叢	ミズゴケ湿原、ズナフ林	
福部村栗谷の坂谷神社の社叢	常緑広葉樹林	ツバキ、シイ、カゴ
久松山	シイ、カシ林	
覚寺神社の社叢	シイ林	
鳥取市香取の意上奴神社の社叢	シイ、カシ林	シイ、ウラジロカシ、タブ、サカキ、シダ類
鳥取市御熊神社とその周辺	シイ林	
鳥取市伏野神社の社叢	シイ林	
鳥取市細見神社の社叢	シイ林	
河原町三谷部落神社の社叢	サカキ林	
用瀬町三角山	アカマツ混交林	ヒノキ、アカガシ、イヌブナ、ナツノハキ
用瀬町洗足山	アカマツ混交林	ヒノキ、ヒメコマツ、ブナ、ミズナフ
用瀬町太山神社の社叢	カシ・シイ林	サカキ、カゴノキ、ソクバネガシ、ウラジロガシ
智頭町中井神社の社叢	カシ林	シフカン、タブ ケヤキ、ブナ
船岡町大江神社	シイ林	
扇ノ山	ブナ・ミズナフ林	
陣鉢山	ブナ・ミズナフ林	
氷ノ山	ブナ・ミズナフ林	キャラボク、コケモモ、オーシモノケ
三室山	ブナ・ミズナフ林	
若桜町糸白見、弁天谷	アカマツ混交林	ヒメコマツ、ジャクナゲ、ヒカゲツツジ ヒノキ
東 山	ブナ・、ズナフ林	
若桜町吉川部落 1282 m峰	ブナ ズナフ林	アカモノ

保 全 地 区	植 生 型	注 目 す べ き 種
沖ノ山	ブナ・ズナフ林	
智頭町新田部落 1040 m峰	風衝低木林	リョウブ、ジャクナゲ、サフサドウダン、ペードウダン
那岐山	風衝低木草原及びブナ林	ヒノキ、サフサドウダン、ペードウダン、ジャクナゲ、マイズルソウ
河原町小河内部落周辺	シフカン・シイ林	
河原町北村の権現の森	常緑混交林	ソバキ、タブノキ
佐治村余戸部落の神社の社叢	カンシ林	
佐治村余戸の三原高原	ススキ、風衝低木林	アカモノ、マンネンスギ
佐治村南平国有林	ブナ・ミズナフ林	
三国山、高鉢山、高山	ブナ・ミズナフ林	シマイヌワフビ、クナゲ
鷲峰山	ブナ・ミズナフ林	
鹿野町鹿野城跡	タブノキ、シイ林	
三朝町中津佐谷越湿原	ミノガシワ湿地	
青谷町八葉寺川周辺	常緑広葉樹林	ソバキ、タフ、ノフカン、ノダ類
東郷町今滝、漆原部落の滝	常緑広葉樹林	アスナ、カ、タブノキ、ノダ類
橋津の海岸	ンダの群落	
打吹山	常緑広葉樹林	シイ、タフ、モ
三徳山、小鹿溪谷	フナ林、カンシ林、河畔林	
人形仙	ササ草原	アカモノ、ココメグサ、イワシテ
三朝町田代部落 1073 m峰	風衝草原	ノガリヤス、アカモノ
若杉山、津黒山	風衝、ススキ草原	アカモノ
蒜山	ブナ・ミズナフ林	
中山町下甲海岸	ハマナス・ハマヒサカキ群落	
大山町本宮部落周辺	ソバキ、モチノキ林	シダ類
米子市湊山	ノイ林	イヌビワ、ヤマモモ、シダ類
金ヶ谷山、毛無山	ブナ林	
日野町滝山神社	カンシ林	スギ、クナゲ
花見山	カンシ低木林、風衝草原	アカモノ
道後山	風衝草原、湿地	アカモノ、シモノ、ハイカイソウ、レンゲソウ
船通山	ブナ林、河畔林	イチイ、オーグ

第3節 動物

本県の動物についてみると、鳥類は本邦に生息する野鳥の約半数に当る200種が生息している。大型動物は少く、僅かにツキノワグマ、イノシシが知られているにすぎず、他は一ホンザル、などの小型哺乳動物が多い。これら諸動物の生息分布域は、生活環境や食餌の関係などから、自然の生態系がよく保全されている地域に分布し、県東部では八頭郡南域、中部では三徳山、打吹山、西部では大山、蒜山を中心とする地域が主たる生息域といえる。特に、大山には、本邦特産の一属一種の珍獣として知られているヤマネや200種に及ぶ野鳥並びに1,000種を越す昆虫類などが生息し、西日本における小型動物の楽園となっている。しかし、県下の動物のなかで、学術的に最も貴重なものは、中国山地の溪流地西伯郡東長田地区に生息し、「生きている化石」といわれている有尾両生類の「オオサンショウウオ」である。

これら諸動物の生息域のうち、優れているのは表4のとおりである。

表4 優れた動物とその生息域

主な行政区	地域名	種類	相	特記
鳥取市	千代川河口	水鳥(ハクチウ、カモ、サキ、シキ)		コハクチョウの住める環境を
鳥取市	湖山池	水鳥(カモ類)アオサキ、オオバン、ハム、オオヨシキリ、ヨシコイ		
鳥取市	久松山山系	小鳥(カフ類、ケフ類、キビタキ)蝶(キマダフルノツバメ)甲虫(カミキリムシ類)ホタカスサンショウウオ、シュレーゲアオカエル		
鳥取市	野坂湿原	ハナショウトンボ		特に雨滝付近を
鳥取市	横枕～猪子	ホトケドショウ		
鳥取市	河内～安蔵	カシカ		
岩美郡	岩美町院内	モリアオカエル		
岩美郡	唐川、宝殿付近	ハナショウトンボ、蝶(ヒロオヒドリノシシミ、キマダフルノツバメ)		
岩美郡	河合谷高原	小鳥(フノボウソウ、オオル)、セノカ)モリアオカエル、甲虫(カミキリムシ類)蝶(キフチョウ、シータテハ、ウスイロヒョウモンモトキ)		
八頭郡	扇ノ山一帯	イヌワシ、オンドリ、ノス、小鳥(コノハズク、カフ類、ホトトキス)蝶(ミドリシジミ類、ウスイロヒョウモンモトキ)		イヌワシの保護を

主 な 行政 区	地 域 名	種 類	相	特 記
八頭郡	陣 鉢 山	イヌワシ、クマタカ、小鳥(カラ類、ケラ類、ソツドリ)		
八頭郡	氷 ノ 山	クマ、サル、ヤマネ、モモンガ、イヌワシ、小鳥(コマドリ、ウソ、カヤクグリ、ブッポウソウ、メボソ)		イヌワシ、ヤマネ 亜高山性の小鳥の 保護を
八頭郡	氷ノ山南斜面	クマ、サル、イヌワシ、クマタカ		
八頭郡	三 室 山	クマ、サル、イヌワシ、クマタカ		
八頭郡	東山(智頭谷)	クマ、サル、イノシシ、リス、イヌワシ、クマタカ		
八頭郡	東山(智頭谷)	クマ、小鳥(コノハズク、ヤマセ)		森林保存良好
八頭郡	沖 ノ 山	クマ、小鳥(コノハズク)		
八頭郡	大 江 の 奥	イノシシ、クマタカ		
八頭郡	那 岐 山	小鳥(カフ類)甲虫(カミキノムシ類)		
八頭郡	洗 足 山	ヒメハルゼミ、蝶(キノシマ トリシジ)		
八頭郡	波 多 の 台	蝶(ウスイロヒョウモンモドキ)		
八頭郡	南平国有林	小鳥(カフ類、ケラ類)蝶(ウスイロヒョウモンモドキ)		
八頭郡	高 鉢 山	イワナ、クマタカ、小鳥(ヤマセ カフ類、ケフ類) 蝶(トリシジ 類)		
八頭郡	三国山高山	小鳥(ケフ類、カフ類)		
八頭郡	円通寺~河原	アユ、カマキノ(アユカケ)		
気高郡	酒ノ津海岸	ウミノコ、ウミウ		
気高郡	鷲 峰 山	小鳥(カラ類、ケフ類)蝶(ギフチョウ)		
気高郡	殿 ~ 矢 原	カワシノジュガイ		
東伯郡	天神川河口	水鳥(カノ、カモ、ツギ、チドリ、サギ類)		天神橋まで
東伯郡	北 条 砂 丘	シギ、チドリ、マツムシ、カンタン、スズムシ		
倉吉市	打 吹 山	小鳥(カラ類、オオルリ)、キビタキ)モノアオガエル 蝶(ギフチョウ、キマダラルリツバメ)		
東伯郡	羽 衣 石 城	蝶(オオムフサキ)		
東伯郡	三 徳 山	イワナ、小鳥(カフ類、ケフ類、ヤマセ カワセミ) 蝶(ヒサマツミドリシシ キノシマ トリシジ) クマタカ、ヒメハルゼミ		
東伯郡	高 清 水 高 原	小鳥(カラ類、ケフ類)		
東伯郡	加谷~木地山	カジカ		
東伯郡	曹源寺の支流	ノザキ(オオサンシ ウウオ)		
東伯郡	福 山	ノザキ(オオサンシ ウウオ)		

主 な 行政区	地 域 名	種 類	相	特 記
東伯郡	三軒屋～大谷	イワナ、ヤマメ、ヤマセ		森林良好
東伯郡	関 金	ホタル		
東伯郡	清 水 川	ハンザキ、イワナ		
東伯郡	上 蒜 山	小鳥(ホトトギス、カラ類、ケラ類)		
東伯郡	大 父 木 地	ブチサンショウウオ		
米子市	日野川河口	水鳥(シギ、チトリ、サギ、カイツブリ)	オオ シキリ	
米子市	城 山	小鳥(カラ類、ケラ類)蝶(アゲハ類)		
日野郡	毛 無 山	小鳥		
日野郡	鶺 鴒 ノ 池	ブノボウソウ、カモ類		
日野郡	別 所 付 近	蝶(ウスイロヒョウモンモトキ、セセリチウ類)		
日野郡	滝 山 公 園	ハンザキ、カジカ、モリアオガエル		
日野郡	印 賀 付 近	ブノボウソウ(営巣)		
日野郡	花 見 山	エゾゼ コエゾゼ 蝶(ゴマシジキ類)	ドリシジキ類)	
日野郡	三 国 山	蝶(ドリシジキ類)		
日野郡	道 後 山	蝶(ギフチウ、ドリシジキ類)		
日野郡	三 国 山	小鳥(ホトトギス、カノコウ、カラ類、ケラ類)		
日野郡	船 通 山	小鳥(ホトトギス、カノコウ、カフ類、ケフ類)		
米子市	弓 ケ 浜	オオヒョウタンゴミムシ、ヒョウタンムシのすみわけ		
日野郡	黒 坂 周 辺	甲虫(カミキリムシ類、ハナムグリ類)		
日野郡	生 山	甲虫(カキリムシ類)		

第2章 自然環境の保全対策

第1節 自然公園

1 自然公園の概況

自然公園は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その適正な利用によりわれわれの保健休養及び教化に資することを目的として設けられたものであるが、近年、経済社会の進展に伴い、日常生活圏に良好な自然が少なくなったこともあって、都市生活等における精神的緊張の解放を図るための場として、あるいは、野外レクリエーションの場としてその利用の欲求が高まってきている。

これらの欲求にこたえ、利用者が自然公園本来の目的に沿って快適な利用が図れるよう、各種施設の整備を進めつつある。

一方、優れた自然は、後世の人間にとっても貴重な資産であるので、その自然環境を保全するため、規制の強化及び管理体制の充実に努めている。

県下の自然公園の指定状況は表5のとおりである。

表5 鳥取県の自然公園

区分	公園名	指定年月日	全面積	県内面積	特別保護地区	特別地域				普通地域	関係市町村
						1種	2種	3種	特別地域計		
国立	大山隠岐国立公園	S11 2 1 S50 9.13 拡大	ha 31,927	ha 13,531	ha 1,139	ha 3,540	ha 2,544	ha 2,677	ha 8,761	ha 3,631	大山、溝口、江府、岸本、関金、東伯、赤碓、名和、中山
	山陰海岸国立公園	S38 7.24	8,996	15,241	125	—	1,312	75	1,387	12	鳥取、福部、岩美
	小計		40,923	15,055	1,264	3,540	3,856	2,752	10,148	3,643	
国定	比婆道後帝釈国定公園	S38 7.24	7,808	1,437	—	22	834	581	1,437	—	日南
	氷ノ山後山那岐山国定公園	S44 4.10	40,507	7,210	196	643	936	5,434	7,014	—	岩美、国府、八東、郡家、若桜、智頭、用瀬
	小計		48,315	8,647	196	665	1,770	6,015	8,453	—	
県立	奥日野県立公園	S39 6.1	4,278	4,278	特別地域指定なし						日野、日南
	三朝東郷湖県立公園	S29 4.1	15,461	15,461	同上						倉吉、三朝、東郷、羽合
	小計		19,739	19,739							
計		108,977.2	43,441.5	1,460.2	4,205.3	5,626.1	8,767.9	18,599.3	3,643	公園面積—県土面積の12.4%	

2 自然公園の保護と管理

国立公園及び国定公園については、保護の適正を図るため、特別保護地区及び特別地域を指定し、これらの地内において風致景観を損うおそれのある一定の行為は、環境庁長官又は知事の許可を受けなければならないことになっている。

県立自然公園については、県立自然公園条例に基づいて管理運営されるが、まだ特別地域の指定がなされていないので早急に特別地域を指定し保護管理の徹底を期することとしている。

国立公園の管理は原則として、国が行うこととされているが、自然公園法の改正により許認可事務が大幅に県知事に権限委譲され、県の管理事務量が増大している。

国立公園の管理機構としては、昭和48年7月に西伯郡大山町大山に環境庁大山隠岐国立公園管理事務所が、昭和51年10月に岩美郡岩美町牧谷に環境庁山陰海岸国立公園浦富管理員事務所が設置され、それぞれ地域内の管理業務を担当している。

昭和50年度以降の自然公園内の行為に係る許認可処理の状況は表6のとおりである。

行為の種類別では、工作物の新增築等が許可の大半を占めている。

表6 国立、国定公園における年度別許認可処理数調べ

公園名	許認可権限	公園事業関係					工作物等関係					計				
		50	51	52	53	54	50	51	52	53	54	50	51	52	53	54
大山隠岐国立公園	長官権限	13	15	17	25	18	9	12	9	6	6	22	27	26	31	24
	知事権限	—	—	—	—	—	27	31	32	32	44	27	31	32	32	44
	小計	13	15	17	25	18	36	43	41	38	50	49	58	58	63	68
山陰海岸国立公園	長官権限	6	11	4	9	7	7	4	10	3	4	13	15	14	12	11
	知事権限	—	—	—	—	—	74	90	126	108	97	74	90	126	108	97
	小計	6	11	4	9	7	81	94	136	111	101	87	105	140	120	108
水ノ山後山那岐山国定公園	知事権限	0	0	0	0	0	4	4	4	2	13	4	4	4	2	13
比婆道後帝釈国定公園	知事権限	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2
計		19	26	21	34	25	121	141	183	151	166	140	140	204	185	191

3 環境浄化対策

自然公園内の主要利用地においては、利用者のもたらす空缶等廃棄物による人為的汚染が各所で問題となっているが、これらの地域における環境汚染については、ほとんどの地域が日常生活圏から遠隔地であるという地理的条件の悪さから、廃棄物の効率的な収集処理等は極めて困難と

なっており、この対策については地元市町村のみでは対応が難かしいので利用者のモラル向上が望まれている。

県においては、国の補助金と合わせて、民間活動団体の美化清掃活動に対して助成を行いその育成を図るとともに環境浄化を推進している。

4 自然公園の施設整備

県下の自然公園の利用者は表7のとおりで、昭和47年から数年間は650万人前後で横ばいの傾向にあったが、昭和53年は710万人に増加したのに続き、54年は735万人と46年以降最高の数字を示しており、前年に比べて約25万人の利用者が増加している。

表7 自然公園の利用状況

公園名		年度								
		47年	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年	
国立公園	大山山隠岐 国立立公園	2,247,000 ^人	2,240,100 ^人	2,170,000 ^人	2,150,000 ^人	2,186,400 ^人	2,195,300 ^人	2,476,000 ^人	2,498,200 ^人	
	山陰海岸 国立立公園	2,286,000	2,228,700	2,438,000	2,456,000	2,421,900	2,569,500	2,464,900	2,635,000	
	小計	4,533,000	4,468,800	4,608,000	4,606,000	4,608,300	4,764,800	4,940,900	5,133,200	
国定公園	氷ノ山後山那岐 国定公園	161,000	144,789	140,000	135,100	137,800	138,100	140,000	170,800	
	比婆道後帝釈 国定公園	28,000	30,449	30,000	28,400	29,000	29,100	29,500	36,000	
	小計	189,000	175,238	170,000	168,500	166,800	167,200	169,500	206,800	
県立公園	三朝東郷湖 県立公園	1,586,000	1,708,400	1,614,000	1,557,800	1,634,500	1,852,100	1,859,700	1,847,500	
	奥日野県立公園	130,000	134,134	130,000	125,200	127,700	128,000	130,000	158,600	
	小計	1,716,000	1,842,534	1,744,000	1,683,000	1,762,200	1,980,100	1,989,700	2,006,100	
合計		6,438,000	6,486,572	6,522,000	6,452,500	6,537,300	6,912,100	7,100,100	7,346,100	

この自然公園の利用者に対する利用施設を54年度は表8のと通りの施設整備を行った。

なお、県立大山自然科学館に自然解説制度を5月から11月の期間設け、展示物の解説のほか大山地内の地形、地質、動物及び歴史等について現地解説を行い自然に関する知識の普及と自然保護思想の高揚を図った。

昭和54年度実施状況

5月20日、5月27日、6月10日、6月24日

7月21日～8月20日（毎日）

9月2日、9月9日、10月7日、10月21日、11月11日

各年度別の自然公園施設の整備状況は資料1のとおりである。

表8 昭和54年度自然公園等施設の整備状況

(1) 国立・国定公園

公園名	事業名	箇所	事業概要
大山隠岐 国立公園	大平原園地整備	江府町	駐車場舗装(アスファルト) 2,500 m ²
	榎原園地整備	大山町	芝生広場造成 11,506 m ²
	一向平野営場整備	東伯町	公衆便所 1棟 炊事場 1棟 給水施設 1式 テントサイト 2,146 m ²

(2) 県立公園

公園名	事業名	施設箇所	事業概要
三朝東郷湖 県立公園	大平山園地整備	倉吉市 大平山	駐車場造成 982 m ²
	打吹公園整備	倉吉市 打吹公園	休憩所 木造平家建 1棟
	三朝園地整備	三朝町 三朝	休憩所 木造平家建 1棟

(3) 中国自然歩道

整備路線名	事業箇所	事業内容
雨滝・大谷線	鳥取市	新設 7,000 m
	国府町 岩美町 福部村	既設(標識のみ) 46.5 Km 休憩舎 4棟 公衆便所 1棟
一向平・三朝線	倉吉市	新設 2,700 m
	東伯町 関金町 東郷町 三朝町	既設(標識のみ) 46.0 Km 休憩舎 2棟 公衆便所 3棟

5 自然保護用地の買上げ

国立国定公園の特別保護地区及び第1種特別地域内の民有地で、緊急にその土地を公有化しない限り自然の保護の徹底を期せられない地域について、交付公債により買上げ自然の保護の徹底を期することとしている。

現在までの公有化状況は表9のとおりである。

なお、氷ノ山、後山、那岐山国定公園、智頭町芦津地内の第3種特別地域の土地について、立木のみを買収を行ない土地は地上権を設定する本県独自の方法で、表10のとおり自然保護用地の取得に当たっている。

表9 自然保護用地の買上状況

公 園 名	場 所	面 積
大 山 隠 岐 国 立 公 園	江 府 町 木 谷	1 0 2 5 4 ^{ha}
	〃 鏡ヶ成	7 8. 1 5
	中 山 町 遠 茶 畑	2 5. 6 4
	大 山 町 大 野	6 9. 7 9
	〃 向 原	7. 4 7
	計	2 8 3. 5 9
氷ノ山後山那岐山国定公園	智 頭 町 芦 津	5 1. 5 6
合 計		3 3 5. 1 5

表10 立木購入状況

公 園 名	場 所	地上権設定面積	地上権設定期間
氷ノ山後山那岐山 国 定 公 園	智 頭 町 芦 津 地 内	29 9524 ^{ha}	50 年

第2節 自然環境保全地域等

良好な自然は、われわれが健康で快適な生活を維持していく上で欠くことのできないものである。そのため、県は自然環境保全条例に基づき、自然環境を保全するための自然環境保全地域の指定を推進している。

1 自然環境保全地域の指定

学術的にも質的にも優れ、全国レベルの17地域については昭和55年までに、中国地方レベルの40地域は昭和60年までに指定することになっている。

表 11 自然環境を保全すべき地域一覧

(面積の単位ha)

分類度	地形・地質部門		植物部門		植物部門		計(地形・地質の) 面積は除く
	地区数	面積	地区数	面積	地区数	面積	
特A	地区数	—	地区数	6	地区数	3	9
	面積	—	面積	4,313	面積	1,100	5,413
A	地区数	4	地区数	9	地区数	4	17
	面積	71 (渓谷は含まず)	面積	205	面積	1,000	1,205
B	地区数	58	地区数	12	地区数	9	79
	面積	5,145 (模式地標本地は省略)	面積	3,077	面積	7,030	10,107
C	地区数	49	地区数	15	地区数	10	74
			面積	533	面積	3,330	3,863
計	面積	111	地区数	42	地区数	26	179
			面積	8,128	面積	12,460	20,588

表 12 昭和60年までに指定すべき自然環境保全地域一覧

(面積の単位ha)

指定期限	区分	地形・地質部門	植物部門	動物部門	計
	地域数	面積	面積	面積	
昭和55年	地域数	2	11	4	17
	面積	71	148	566	785
昭和60年	地域数	18	13	9	40
	面積	5,623	2,548	4,470	12,141
計	地域数	20	22	13	57
	面積	5,694	2,696	5,036	13,426

表 13 自然環境保全地域等の指定状況

地区名	所在地	面積	指定年月日
菅野	国府町	20.5 ha	S 52. 4. 8
香取(意上奴神社)	鳥取市	7.9	〃
松上神社	〃	5.2	〃
笏賀(花蔵山)	三朝町	3.2	S 52. 7. 29
馬場(長田神社)	西伯町	3.7	〃
唐川	岩美町	19.8	S 53. 5. 12
計		60.3	